

試料	赤 鐵 鑛								磁 鐵 鑛										
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
鐵總量(直接)	63.4	63.4							66.4	66.4									
(還元測定)						63.4	63.2									65.9	65.8	66.0	
第一鐵(直接)			0.25	0.3					21.5	21.5	21.4								
(操作後)					0.4	0.5									21.2	21.1	21.1		
遊離鐵													0.25	0.20					

硫化鐵は硫酸鐵に一部とけて遊離鐵の如く作用し一部鹽酸にとけて第一鐵として作用するがS≤1.0%では全部遊離鐵となるらしい。酸化炭素で還元した赤鐵鑛の分析も載つてゐる。(黒田)

製 鐵 業 の 近 況

商工省鑛山局で最近調査し得た處に依ると昨年中の製鐵品は前年に比し著るしく輸入増加し、内地生産状況を見ると銑鐵を除いては何れも増加を示して居る、即ち左の如し。

鐵鑛輸入額	數量(佛噸)	價格(圓)
大正十二年	988,650	8,027,350
大正十三年	1,065,132	8,957,899
銑 鐵		
大正十二年	247,626	17,720,880
大正十三年	441,944	23,087,217
鋼 材		
大正十二年	769,847	122,473,909
大正十三年	1,151,676	195,161,993
鐵鑛生産額(△印は減)		佛 噸
内 地		61,040
朝 鮮		323,639
南 滿		220,384
	大正十三年	大正十二年
銑 鐵	596,412	△ 610,751
鋼 材	1,071,875	959,008
鋼 材	824,019	768,074

上の如く輸入の激増したのは震災直後免税されて居た爲め思惑をなす者が多かつた結果であつて昨年1、2、3月間には例年のない輸入増加を見た。次に生産額は毎年増加し相當需要あるものと觀られるが以上の如く歐大陸物や米國物が大量生産に依り廉價で輸入されるので壓倒される傾向にある。随つて内地製鐵業者も打撃を蒙つて居るが併し生産も相當増加して居る程であるから曲りなりにも營業を繼續して居る、而して内地營業三十社中十社は損失、十社は五分乃至一割の配當をなし他は利益はあるも配當は出來ない情況であるが全然事業を中止すると云ふ會社は極めて稀である。

大正十四年五月二十三日印刷

大正十四年五月二十五日發行

編輯人兼發行人	東京府荏原郡平塚村大字戸越九百番地	大 矢 喜 兵
印 刷 人	東京市神田區美土代町二丁目一番地	島 連 太 郎
印 刷 所	東京市神田區美土代町二丁目一番地	三 秀 舍
發 行 所	東京市麹町區有樂町一丁目一番地東七號館内	日 本 鐵 鋼 協 會

定價金七拾五錢

電話大手局三一四四番
振替貯金口座東京一九三番